

一畑電鉄②

山陰地方（島根県）に残る唯一の私鉄ですが、本社は、松江市ではなくなぜか？「平田市」にあります。

この一畑電車には、途中に「スイッチバック」がある。

その4、平地を走るところに「スイッチバック」がある。山陰地方の私鉄のスイッチバックというと、「それは山地を走るから当然でしょう」との返事が多いのですが、実はこれは平地にあるのです。一畑電車の設立は一畑薬師の参詣を目的したものであって、松江方面からも、出雲今市（現出雲市）方面からも、目的地（終点）は「一畑薬師」でした。このため当初から、松江～出雲間の特通運転は計画にありませんでした。加えて、昭和19年の戦時体制下で、不急レールの供出命令に従って、薬師門前～一畑口間の約3.2kmのレールが撤去されました。それ以来、このレールは現在にいたるまで復旧されていません。戦後、松江～出雲市への直通運転がされるようになると、ここでスイッチバックしなければならなくなった次第です。（ケガの功名？で有名に？）



その5、「イベント」をやる。「お座敷電車」「ビール電車」これは、前号で紹介した、50系のクーラのない車両を使用して、松江～松江に戻る 約2時間を窓からの自然の風を感じながらビールを飲むという志向のもので大好評を博したとか？「貸切電車」これは団体貸切とかでなく、誰にでも（24100円/1時間/1両）で貸し出すというものです。（但し金額については不確かです）その他に「電車アテンダント」「歌舞伎電車」「自転車持込可」「小学生わくわく切符」「中古電車の活用」等々、話題が多く、いろいろとイベントをやる会社です。



3000系
旧南海電鉄A-6カ-



5000系
旧京王5000系



2100系
旧京王5000系